

報 告

## オーストラリア薬学海外研修(2019)の成果報告

山田陽一\*, 阿藤寛明, 加地弘明, 森山圭, 豊村隆男, 松尾美奈子, 中西徹  
就実大学薬学部海外研修委員会

### Report of English Language and Pharmacy Program 2019 in Australia

Yoichi Yamada\*, Hiroaki Aso, Hiroaki Kaji, Kei Moriyama, Takao Toyomura,  
Minako Matsuo, Tohru Nakanishi  
*Committee of Overseas Training, School of Pharmacy, Shujitsu University*  
(Received 25 September 2020; accepted 23 December 2020)

---

#### Abstract

Thirty-two 3<sup>rd</sup> to 5<sup>th</sup> grade students of School of Pharmacy, Shujitsu University attended the program of English Language and Pharmacy in The University of Queensland's Institute of Continuing & TESOL Education (ICTE). The 2019 program was developed based on previously successful programs delivered for Shujitsu University and was coordinated by ICTE. A two-week program from 9 (or 10) – 25 August 2019 was conducted in Brisbane. Students learned a lot about Australian culture, lifestyle and pharmacy by not only studying in classes but living with an Australian family. Students were divided into two groups for classes, and the activities such as tours were made together. According to the survey results, students believed that the improvement in listening and speaking ability was greater than that in reading and writing. Most students had favorable opinions of this program. They made good progress in their English skills and knowledge of Pharmacy through this program.

**Keywords:** English Language and Pharmacy Program, Australia, The University of Queensland

---

#### オーストラリア薬学海外研修について

薬学海外研修は「多角的視野を持ち、時代の変化に対応して国際社会で活躍する薬剤師を育成する」ことを目的として開講されている就実大学薬学部のアドバンスト科目(2単位)である。毎年、8月の2週間程度で開催されており、通常は薬学部教員2名が引率し、オーストラリア東部の都市

ブリスベンに滞在する。現地ではクイーンズランド大学(UQ)の提供する English Language and Pharmacy プログラムを受講する。夜間のホームステイと昼間の UQ の英語授業やアクティビティが含まれている。本プログラムは就実大学薬学部だけに向けてカスタマイズされており、病院見学・薬局見学などを含め、他では真似できない充

実した内容である。帰国後はレポートと帰朝報告会での発表を義務付けている。2018年度までは薬学部5、6年生が対象であったが、2019年度から薬学部3年生以上が対象となった。年によってはコンソーシアムに働きかけ、他大学の学生が参加することもあった。

### 2019年度の研修について

2019年度は32名の参加があった。岡山 - 関西国際空港 - チャンギ国際空港 (シンガポール) - ブリスベン国際空港 (オーストラリア)の経路で移動した。8/11(日)にはホストファミリーと合流し、月曜からのクイーンズランド大学での講義に備えた。本研修の大学での日程表を

WEEK 1

Monday 12 August Martin Dutton	Tuesday 13 August Martin Dutton	Wednesday 14 August	Thursday 15 August Martin Dutton	Friday 16 August
8:15 - 10:15 Welcome and Orientation	8:15 - 10:15 English Living in a Homestay  The Ekka	Public Holiday in Brisbane no ICTE-UQ classes  <i>Ekka Day</i> Students to be given entry ticket	8:15 - 10:15 English Workshop 1 Colds and Flu	9:00 - 3:00 8:30-10:30  Presentation: Introduction to Australian Pharmacy Industry  Building 14-132
Break 10:15 - 10:45			Break 10:15 - 10:45	10:30 - 3:00 Activity Site Visit - Pharmacy
10:45 - 12:45 English Getting to Know You  Places to Go in Brisbane	10:45 - 12:45 English Australian Animals		10:45 - 12:45 English Preparation for Pharmacy Visit	
Lunch 12:45 - 1:30			Lunch 12:45 - 1:45	
1:30 - 4:30 Activity City Walking Tour	1:30 - 4:30 Activity: Lone Pine			

WEEK 2

Monday 19 August	Tuesday 20 August	Wednesday 21 August	Thursday 22 August	Friday 23 August
Activity: North Stradbroke Island	8:15 - 10:15 English Workshop 2 Pain and Fatigue	8:15 - 10:15 English Workshop 3 Reading Prescriptions	8:15 - 10:15 English Workshop 5 Reading Package Inserts	8:15 - 10:15 English Saying Goodbye and thank you to homestay families  Course Evaluation
	Break 10:15 - 10:45		Break 10:15 - 10:45	
	10:45 - 12:45 English Preparation for PA Hospital visit	10:45 - 12:45 Workshop 4 The Gastro Intestinal System	10:45 - 12:45 English Workshop 6 Reading Pharmacy Fact Sheets and Giving Advice	10:45 - 11:30 Certificate ceremony  12:00-1:30 Farewell Lunch
		Lunch 12:45 - 2:00	Lunch 12:45 - 2:00	
		2:30 - 4:30 Activity Site Visit: Princess Alexandra Hospital		

図1. 大学における English と Activity の日程表(2019)

図1に示す。大学での内容は主に English と Activity に分かれています。また、8/17~8/18の週末は、自由行動であった。夜間は一般のオーストラリア家庭にホームステイした。

### 大学の English and Pharmacy クラス

UQの留学生専用の部署である Institute of Continuing & TESOL Education (ICTE)の建物にて英語の授業が行われた。オーストラリアやブリスベンに関しての導入、英語での自己紹介などの基礎的な内容が8時間程度行われた。その後、薬学部に特化した風邪とインフルエンザの症状の違い、痛みと倦怠感の表現方法、ヒトの消化器系の説明、処方箋の読み取り方、添付文書の読み方、オーストラリアにおける薬学情勢、病院・薬局訪問の事前学習として医療制度や医療機関の役割などの講義が16時間程度行われた。最後に、本研修のまとめが2時間であった。ICTEの教員は留学生専門で、英語を母国語としない学生への対応が非常に上手であった。初回の授業では話したがらなかった学生たちも、2週間のプログラム終

了時には自分から積極的に英語で話せるようになっていた。

### 大学の Activity

ブリスベン市街地の散策、ローンパイン訪問(動物園)、ノースストラトブローック島訪問、薬局訪問、Princess Alexandra Hospital (PAH)訪問が行われた。PAHには元日本人でオーストラリアの薬剤師を取得している先生が在籍しており、病院内(薬剤部、病棟、院内製剤室など)の一般人は立ち入れない場所の見学を行った。2019年度は薬学部付属薬局への見学が中止となったため、市中薬局見学であった。

### ホームステイ

ステイ先ファミリーは近ければバス等で15分、遠いと1時間半程度に位置していた。多くの学生は2人1組で滞在し、オーストラリアでの生活について体験した。ホストファミリーと毎日、英語でコミュニケーションを行った。

### アンケートの実施

本プログラムによる成果を明らかにするため、

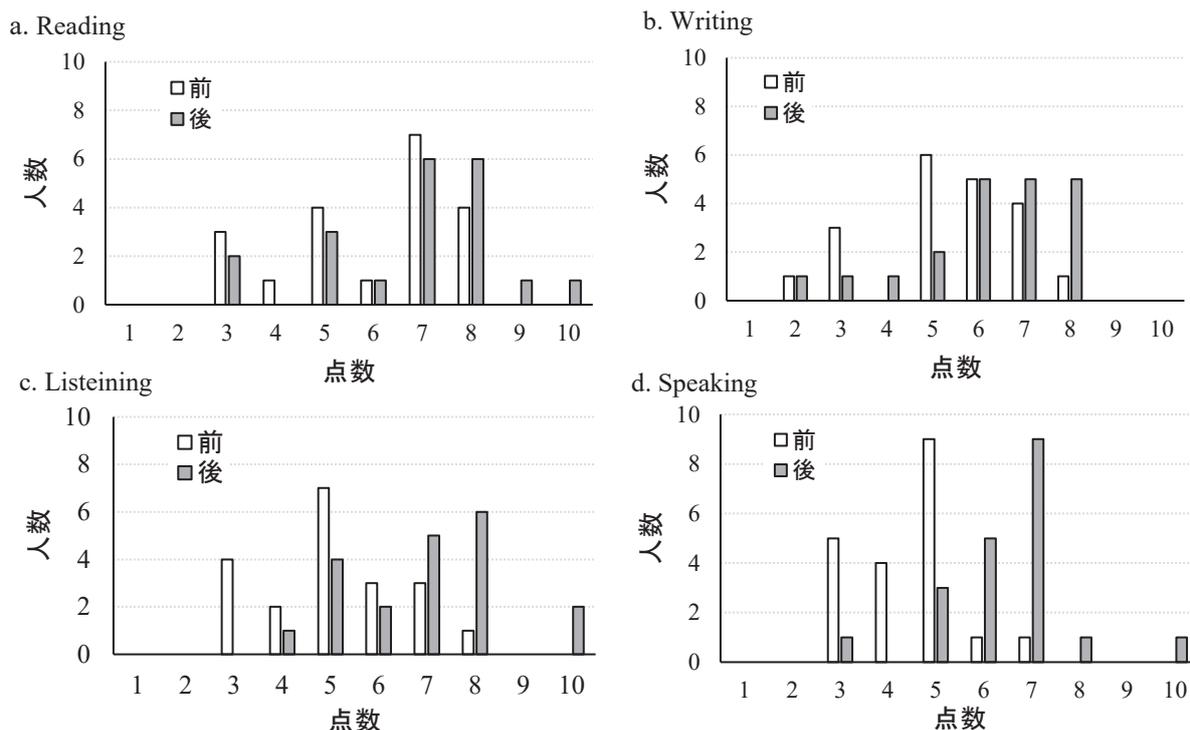


図 2. 英語力に関する自己採点 (a; reading, b; writing, c; listening, d; speaking)

自己評価アンケートを行った。アンケート協力者は 32 人中 20 人であった。

**勉強時間**；(質問) 英語で会話した 1 日の時間はどのくらいですか？ (大学、外出先、ホームステイ先) 平日 1 日の英会話時間の平均は、大学 136 分 (最小 60 分～最大 240 分)、外出先 43 分 (最小 10 分～最大 60 分)、ホームステイ先 106 分 (最小 30 分～最大 240 分)であった。研修前に教員からホームステイ先ファミリーとしっかりコミュニケーションをとるようにとのアドバイスがあり、学生達はそのアドバイスを実践していた。

**英語能力**；(質問) 自分の英語の実力に点数をつけるとどのくらいどのくらいだと思いますか？

(10 段階) このプログラムの受講前、受講後の英語の各能力 (Reading, Writing, Listening, Speaking) に 10 点満点で点数を付けた (図 2)。また、受講の前後での自己採点の変化を図 3 に示した。Reading、Writing 能力について、受講前はそれぞれの平均は 6.0 点、5.4 点であった。受講後はそれぞれ平均 6.8 点、6.2 点であった。受講による変化はアンケート提出した 20 人中の半数近くが点数の変化はないと回答した。Reading の点数が

変化なしと回答した学生 11 人と Writing の点数が変化なしと回答した学生 9 人のうち 8 人は共通の学生であった。Listening、Speaking 能力について、受講前の平均は 5.1 点、4.5 点、受講後は平均 7.0 点、6.5 点であった。アンケート提出した 20 人中のほぼ全員が両項目の点数の上昇を自覚しており、その平均は約 2 点であった。Speaking の点数が変化なしと付けた学生は 1 人のみで、当学生の自己採点結果は前後ともに低かった (data not shown)。中学、高校、大学を通じて英語を学んできたはずであるが、多くの参加者にとって初めての英語での生活の実践であった。2 週間という短い期間にもかかわらず、参加者自身は

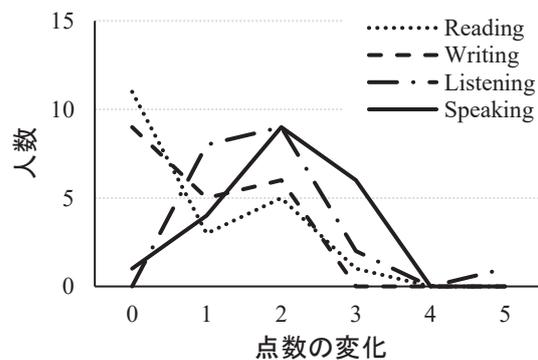


図 3. 自己採点の変化

Listening、Speaking を中心に英語力の急な成長を感じ取れたようである。本研修の事前説明時に積極的に英語でコミュニケーションをとるように指導したことも一因であり、今後も続けていきたい。

大学でのプログラムで最も良かった内容、悪かった内容; (質問) 大学で一番良かった(悪かった)のは何の時間ですか? (自由記述) 自由記述の結果、良かった内容は、「医療会話などの英語講義」の意見が最も多く、次いで、「見学」であった。学生達の学習意欲の高さ、現地 ICTE の教員の質の高さが要因だと思われた。一方、悪かった内容は 15 人から「ない」とのことで、本語学研修は満足度が非常に高いと思われた。2019 年度に参加した学生の中には 2020 年度の募集においても参加を表明した学生が存在した。

研修で最も良かった、悪かった内容; (質問) 2 週間で一番良かった(悪かった)のは何の時間ですか? (自由記述) 良かった内容として、「ホームステイ」が 6 人、「EKKA(祝日の収穫祭)」が 6 人であった。研修開始前にはホームステイを不安がる学生もいたが、ホストファミリーと帰国後も交友を保っている学生がいることからホームステイの人気の高さが窺えた。悪かった内容は、8 人が「ない」と回答していた。

ホームステイ先でのトラブル; (質問) ホームステイ先でのトラブルや困ったことなど、またその解決法(自由記述) 生活・文化の違いがあるため、様々なトラブルは起こっていた。オーストラリアなまりの英語に起因するトラブルが多かった。しかしながら、事前にコミュニケーションをしっかりとるよう指導していたため、大きなトラブルに発展はしなかった。生活面での不満として、複数の学生がシャワー時間の短さ、食生活の違いを挙げていた。

後輩へのアドバイス、感想など; (質問) 後輩へのアドバイス、語学研修の感想、改善してほしいこと (自由記述) 約 40 の意見が述べられていた。否定的なアドバイスや感想は皆無であり、本研修

の楽しみ方やトラブル対処法など有用な内容であった。これらの意見は今後の海外研修の紹介でも活用したい。また、教員に対して、本研修の準備、引率に関する感謝の意見も複数あった。

#### 次年度への課題

ICTE のマネージャーであるイアン氏から「UQ が提供する英語プログラムは、通常 3 週間であり、2 週間より 3 週間のプログラムの方が効果が飛躍的に高まるだけでなく、より薬学的な授業の時間が取れる」と現地にてアドバイスを受けた。2 週間だと英語に慣れたところに研修が終わるため、もう少し長めを希望する学生が複数、見受けられた。アドバンスト科目にふさわしい高度な英語教育と国際化のため、3 週間のプログラムも検討を続けるべきであると感じた。

#### 総括

研修終了後に、UQ から報告書が送付され、その中で「They worked together well and made good progress in their English.」と良い評価を受けていた。さらに、UQ のアンケートによると参加した学生達 32 人中 30 人が本プログラムを後輩にも勧めたいと感じていたり。就実大学でのアンケートだけでなく、UQ でのアンケートでも本研修の満足度の高さが示された。2 週間にわたる英語環境と積極的なプログラムへの参加で学生たちは英語の実力、特に Listening と Speaking が大幅に上がったと実感していた。さらに、英語能力や異文化に対する理解力だけでなく、人間的にも大きく成長できた印象を受けた。このことが、本研修の最大の成果であると感じた。

#### 謝辞

本研修の成功にご尽力いただいた国際交流センターの皆様、教職員の皆様に御礼申し上げます。内容確認を行っていただいた Timothy J. Egan に御礼申し上げます。

#### 引用文献

1) Customized English Language and Pharmacy Program Report, The University of Queensland (Australia) (2019)